

ご受講前にご確認ください

◆2025年度講義動画は、2024年のアーカイブ配信です

- 講義内で「昨年・今年・来年」「最新」などの表現がある場合は、2024年時点であることをご留意ください。
- 団体名、講師の所属等も、2024年当時のものです。
- 一部の講義動画には、昨年度からの修正・差し替えがあります。変更の有無は次のスライドでご提示します。

アーカイブ配信の補足・変更点

この講義テーマには、2024年度からの変更点はありません。

2025年度 こども家庭庁委託事業

不妊症・不育症ピアサポーター等の養成研修

医療従事者・自治体関係者プログラム

5. グリーフケア

東京医療保健大学

小嶋 奈都子



グリーンケア

東京医療保健大学 東が丘看護学部 小嶋奈都子



- 01 | グリーフとは
- 02 | 周産期のグリーフケア
- 03 | グリーフケアの
進め方
- 04 | グリーフケアと
ピアサポート
- 05 | 支援者に求められるもの
- 06 | 周産期の
グリーフケアの例

CONTENTS



01

グリーフとは

01 グリーフとは



人は、自分が大切に思っている対象(人、物、事)を失ったときに、衝撃や不安、悲しみを頂きつつ、何とか前向きに現実を生きようとする。

相対する感情が併存する不安定な心身反応をグリーフ(悲嘆)といいます。

(宮林ら,2012)



01 グリーフとは



心と体の反応の例

感情的反応	抑うつ、不安、ショック、感情の麻痺
認知的反応	失ったものばかりを考える 現実感がない、記憶力・集中力の低下
行動的反応	動揺、涙を流す、過活動、社会的引きこもり
身体的反応	食欲不振、不眠、身体的愁訴

(瀬藤ら,2023を参考に改変)

01 グリーフとは



グリーフが生じる場面

離婚

病気

失業

天災

死別（流産・死産等）

不妊治療・不育症治療

} 周産期に関わるグリーフ

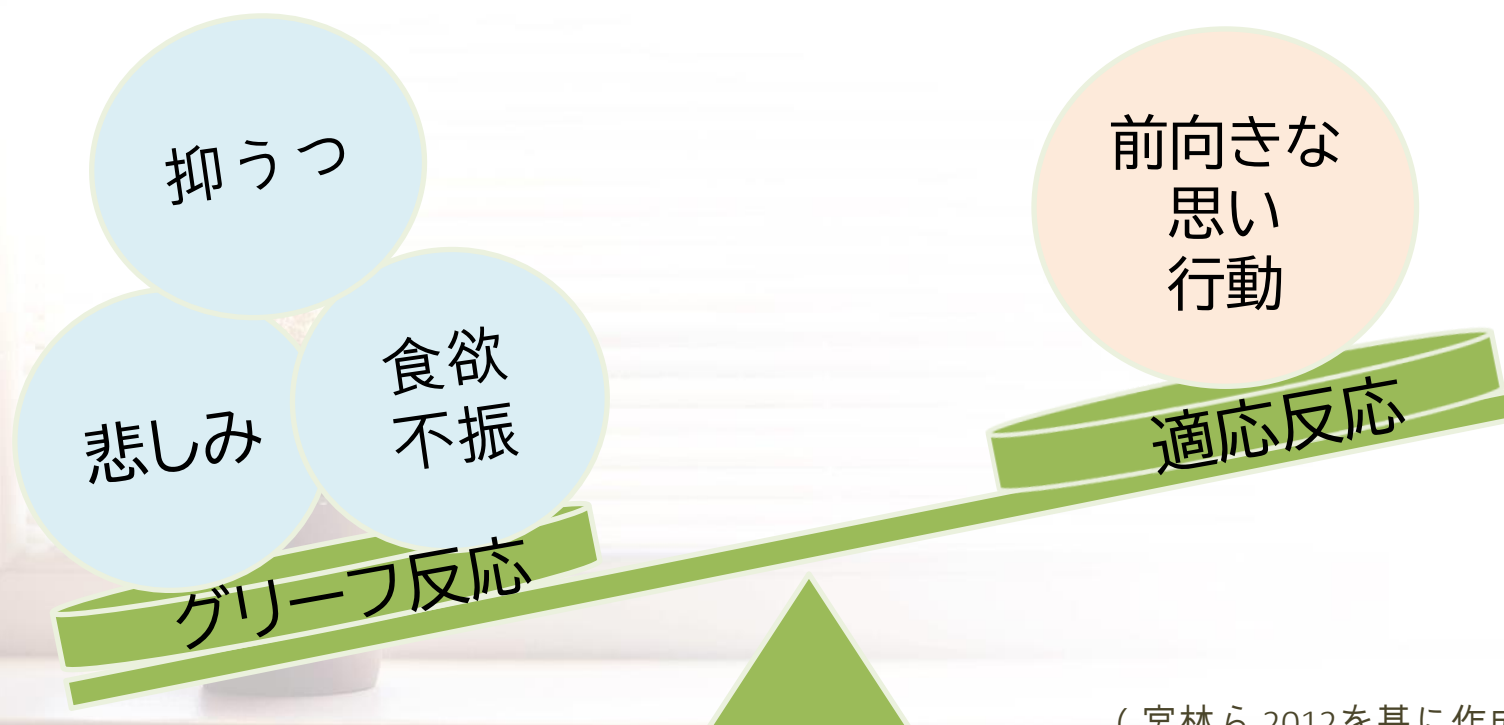


01 グリーフとは



グリーフのプロセス

喪失により、最初は大きな衝撃を受けます。
失ったことを受け入れるまでには時間を要します。



(宮林ら,2012を基に作成)

01 グリーフとは



グリーフのプロセス

精神科学・社会福祉学・心理学などに基づき発達してきました。

・段階説(キューブラロス等)

グリーフは段階的に進行し1段クリアすると次の段階に進むと考える説。

・位相説(パークス等)

グリーフの内容は変遷し、ときには重複するという説。

・2重過程モデル(ストロエーブ等)

グリーフは、二つの心理的な壁の間に挟まれて一方にぶつかっては反対側に跳ね返される、**つかみどころのない心の揺れ動き(波動)**とする説。

01 グリーフとは



喪失指向のコーピング



死別体験に対応する
—グリーフワークに関する
作業に取り組む

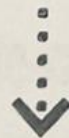
- 泣く
- 亡くなった人を悼む
- 亡くなった人の写真を見る
- 亡くなった人の位置づけをし直す
- 回復・変化することへの否認・回避

喪失



回復

回復指向のコーピング



死別に対する二次的変化
に適應する

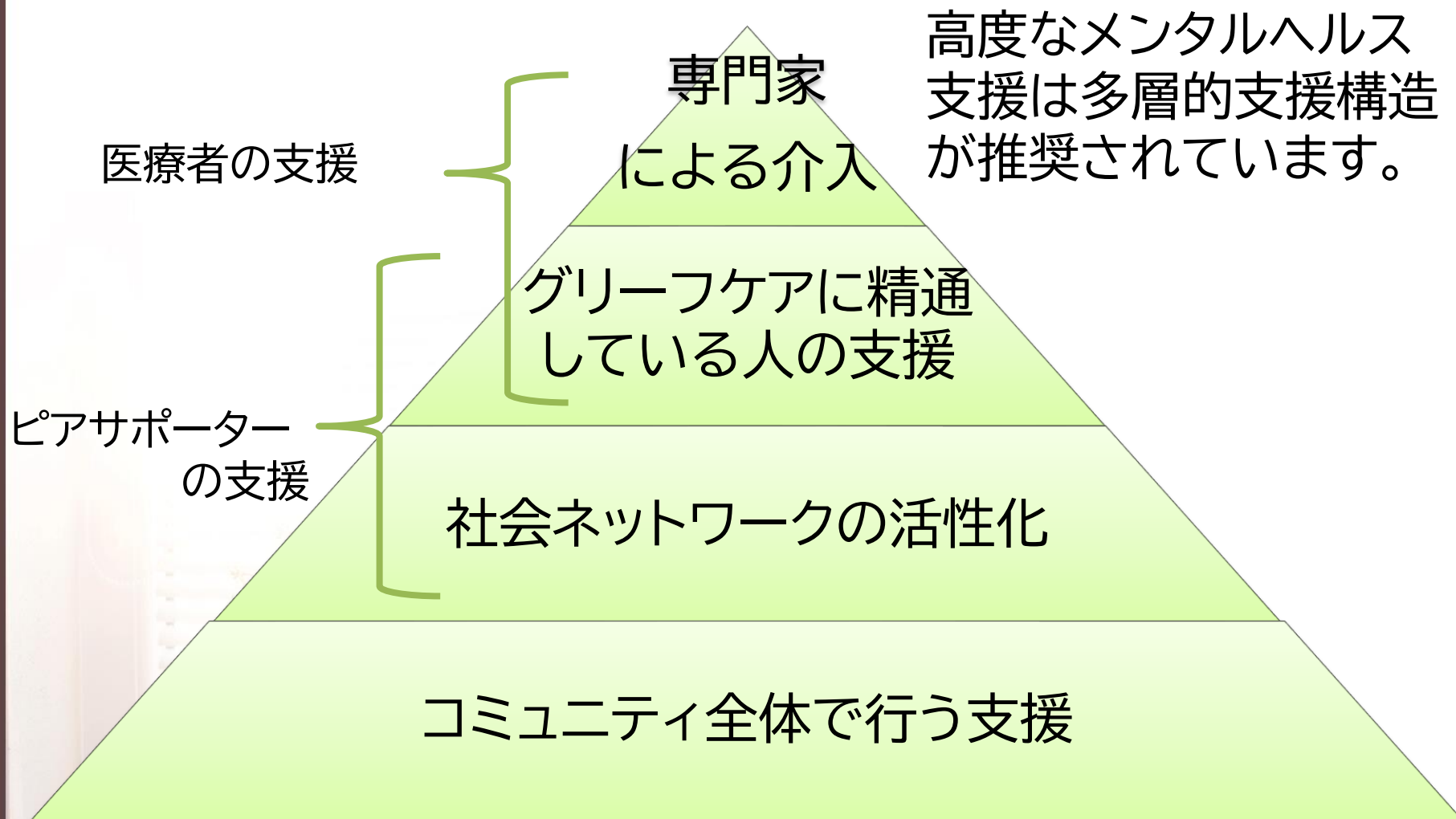
- 新しいスキルを獲得する
- 生活を立て直す
- 新しいアイデンティティを
発展させる
- 悲嘆から気をそらす

(蛭田,2017より)



02 周産期の グリーンケア

02 周産期のグリーフケア



(瀬藤ら,2023を参考に改変)

02 周産期のグリーフケア



周産期でグリーフケアが求められる場面

流産：妊娠22週未満で胎児が亡くなってしまった時、
人工妊娠中絶を決断した時

死産：胎が亡くなった状態で出産になった時
(妊娠12週以降の後期流産を死産ということもあります)

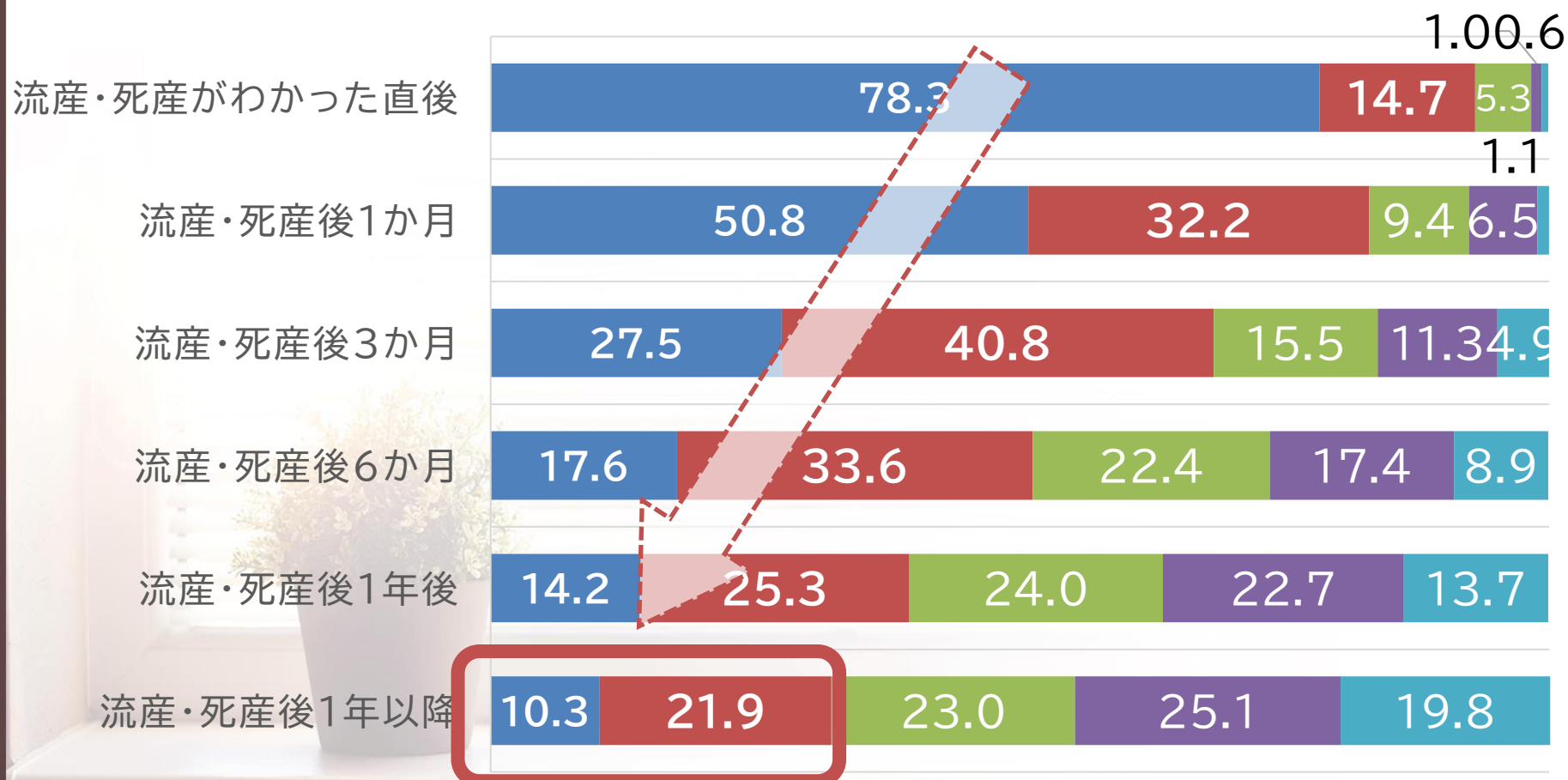
新生児死亡：
出生後に新生児が亡くなってしまった時

不妊治療・不育症治療中：
治療の成果が思うように得られない時、治療を中断
する時。不育症では妊娠がトラウマになってしまうこ
とも…

02 周産期のグリーフケア

流産・死産を経験した後、時期ごとの辛さ

- 非常に辛かった
- まあ辛かった
- どちらともいえない
- そう辛くはなかった
- 全くつらくなかった



(令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業より)

02 周産期のグリーフケア

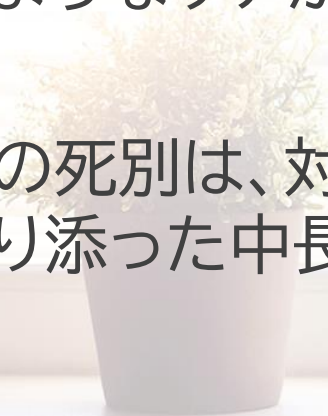


周産期にグリーフケアが求められる理由

流産、死産、新生児死亡といった、胎児や赤ちゃんとの別れは、**命との出会いが別れ**となることがあります。

周産期のグリーフケアには、喪失の悲しみに対するケアだけでなく、出会いの喜びを支え、少なくともそれを否定しないで済むようなケアが求められます(橋本,2020)

周産期の死別は、対象者の心の揺れ動きが大きく、心身の状況に寄り添った中長期的なケアが必要です。(菅生,2017)



02 周産期のグリーフケア



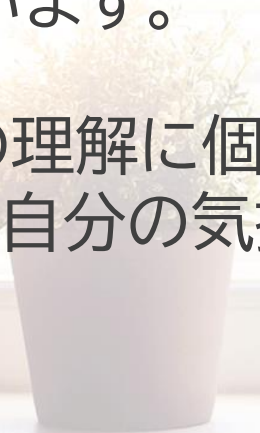
ケアの対象となる人

母親：身体的な負担と心理的負担が同時に訪れます。赤ちゃんへの愛おしさ、と深い悲しみを感じ混乱することがあります。

父親：妻(パートナー)を支えようとするあまり、自分のグリーフは過小評価しがちです。

祖父母：子ども(母親・父親)に対してと孫に対しての悲しみを感じています。

兄弟：死の理解に個人差があり、なくなった兄弟(赤ちゃん)のことや自分の気持ちを表現することができないこともあります。





03

グリーンケアの 進め方

03 グリーフケアの進め方



流産や死産を告げられた後

- ・胎児死亡の宣告時、その場に助産師や看護師が同席し寄り添うことが大切です。
- ・処置のために来院した方に対しては、配慮をしながらも 普段と同じ態度で接することを心がけましょう。腫物に触るような態度はかえって傷つけてしまうことがあります。
- ・そして、できるだけ家族でゆっくりと過ごせるような環境を提供し、処置や出産に関する希望を聞き、可能な限り対応をしましょう。

赤ちゃんのためにできることの提案を！



03 グリーフケアの進め方



赤ちゃんを出産した後

- ・赤ちゃんを生きている赤ちゃんと同じように大切に扱います。
- ・生まれた後に、「おめでとう」という言葉をもらって嬉しかったという方もいます。
- ・初着を着せる、手形や足型をとる、写真を撮るなど赤ちゃんが生まれたことをあとでふりかえれる形で残すことも有効です。
- ・できる限り赤ちゃんと過ごす時間をとることも良いです。

お母様やご家族の希望や気持ちに沿ったケアを！



03 グリーフケアの進め方



赤ちゃんとお別れの後

- ・死産・流産後の不安定な体調に配慮したケアが必要です。
- ・通常よりも短期間で退院することもあり、十分なケアができないことも多いです。
- ・産後健診等を通じて、カウンセリングやピアサポーターといった支援の方法を提案することも重要です。



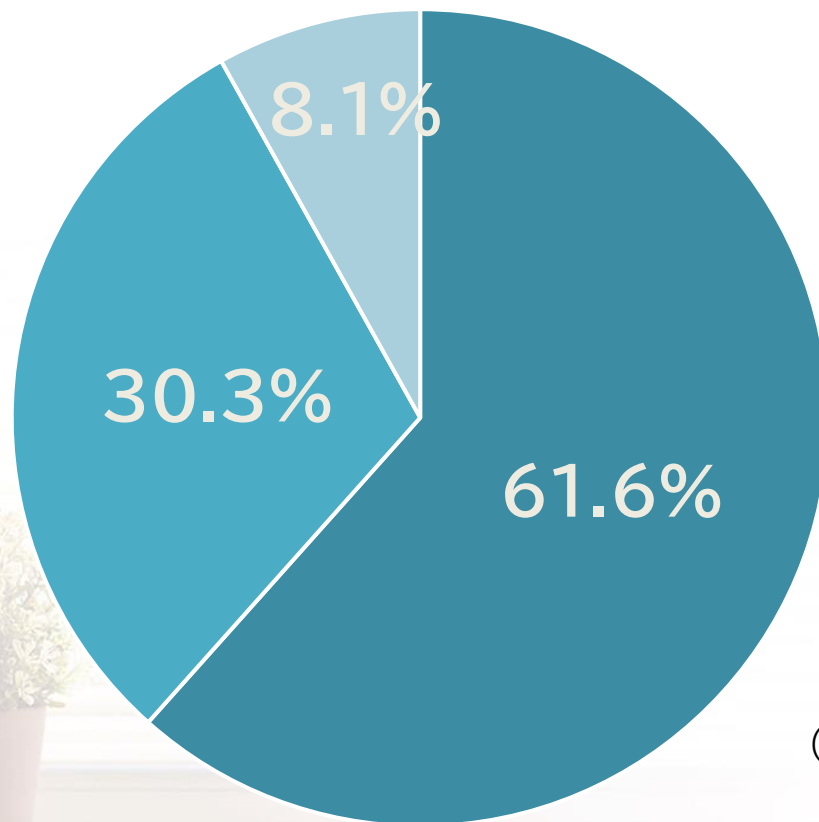


04 グリーフケアと ピアサポート

ピアサポートとは、同じような立場の人同士が語り合い、
助けあうことで、様々な分野で実践されています。
周産期の喪失体験をした方へのピアサポートもあります。

04 グリーフケアとピアサポート

流産・死産がわかった直後に感じた辛さについて
誰かに話したり相談したりしたか



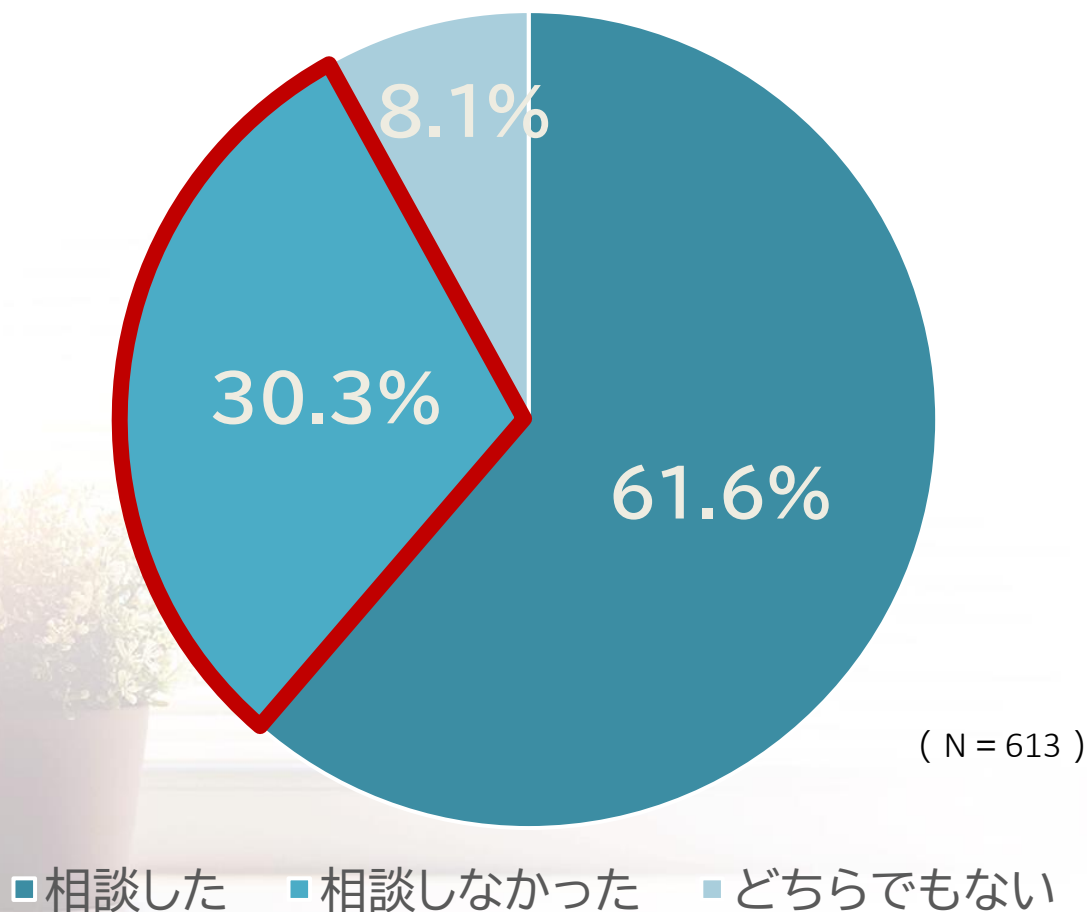
(N = 613)

■ 相談した ■ 相談しなかった ■ どちらでもない

(令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業より)

04 グリーフケアとピアサポート

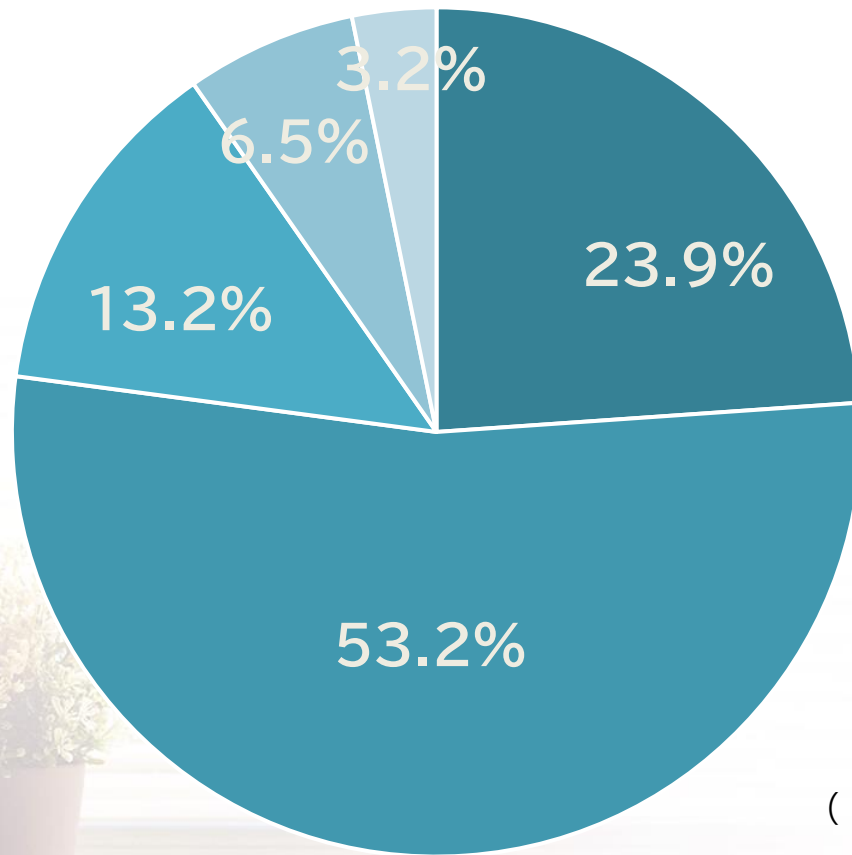
流産・死産がわかった直後に感じた辛さについて
誰かに話したり相談したりしたか



(令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業より)

04 グリーフケアとピアサポート

相談したことで辛さは和らいだか



(N = 372)

■ やわらいだ

■ 少しやわらいだ

■ どちらとも言えない

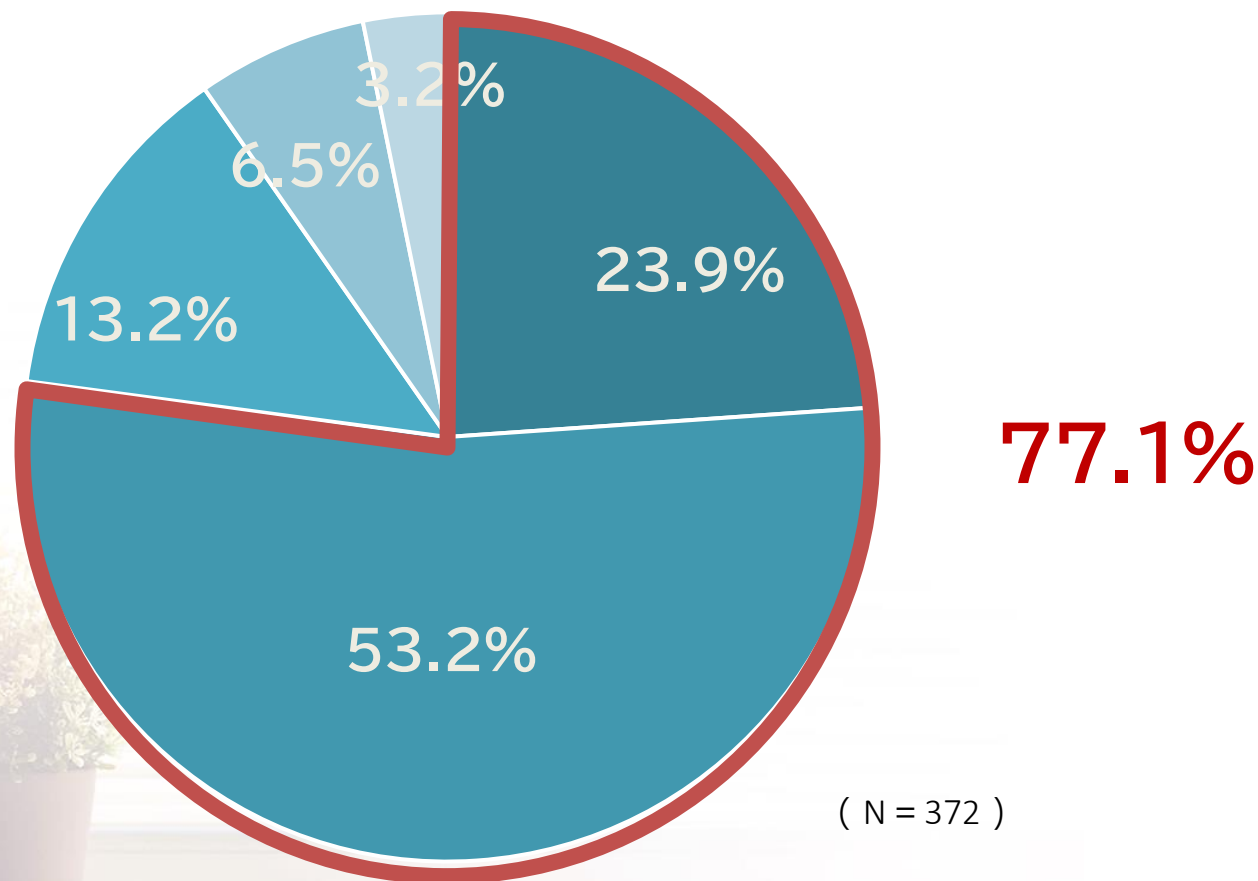
■ あまりやわらがなかった

■ 全く和やらがなかった

(令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業より)

04 グリーフケアとピアサポート

相談したことで辛さは和らいだか



■ やわらいだ

■ 少しやわらいだ

■ どちらとも言えない

■ あまりやわらがなかった

■ 全く和やらがなかった

(令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業より)



ピアサポート

- ・ピアサポートはセルフヘルプグループや自助グループといわれることもあります。
- ・ピアサポートの主な活動はピアカウンセリングです。
- ・ピアカウンセリングは「分かち合い」と呼ばれ、想いを言葉にし、その言葉に耳を傾けることが中心で、目標を掲げたり問題を解決することを目指すものとは異なります。
- ・何を話しても許されること、何も話さなくてもよいこと、互いに話すことの否定的な発言をしないことなどのルールがしかれることが多いです。

04 グリーフケアとピアサポート



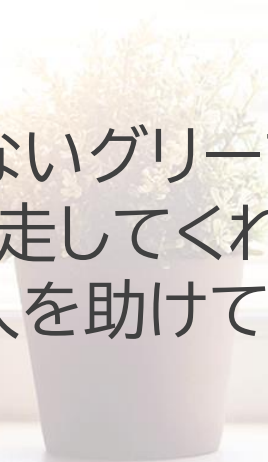
ピアカウンセリングをするときに気を付けること

ピアサポーターは、自分自身の経験から、「わかる」と思い込んでしまうことがあります。

体験を通して感じる感情や考え方、解釈は人によって様々であることを忘れてはいけません。

そして、同じグリーフの過程をたどることもありません。

解決できないグリーフという課題と向き合うときに、温かく寄り添い、伴走してくれるピアサポーターの存在は、グリーフの過程にある人を助けてくれます。





05
支援者に
求められるもの

05 支援者に求められるもの



支援者に必要な姿勢

- ・ 寄り添うこと

対象者が素直に自分の感情を出せるよう寄り添うこと

- ・ 無条件の積極的関心に向け共感的理解を示す

相手のありのままを受け入れ、相手をわかろうとすること

- ・ 傾聴

相手の言葉に含まれているニュアンスを感じ取り、関心を持ち熱心に聞くこと



05 支援者に求められるもの



支援の内容ー3つのサポート

- ・ **情緒的サポート**

グリーフケアの中心で、当事者さんの語りを聴く姿勢が重要です。

- ・ **道具的サポート**

葬儀の手伝いや家事のサポートなど、死別を受けとめきれない時期には物理的な支援も求められます。

- ・ **情動的サポート**

情報を提供することで間接的に遺族を支えることを示します。本やリーフレット、ピアサポートを紹介することも含まれます。

05 支援者に求められるもの



遺族が傷つく言葉（例）

「いつまでも泣いていてはダメ。そんなことでは赤ちゃんが浮かばれないよ」

「あなたよりももっと大変な人もいるのだから」

「早く次の子どもを産めばいいよ」

「時間がたてば忘れられる」

「あなたの気持ちはよくわかります」

相手の想いをありのままに受け止めることが求められます



06

周産期の グリーンケアの例

06 周産期のグリーフケアの例



子宮内胎児死亡を経験したAさん



06 周産期のグリーフケアの例



子宮内胎児死亡を体験したAさんへのケアの例



- ・今の気持ちをありのままに話してもらおう。
- ・赤ちゃんへの思いを象徴するグッズの作成など、赤ちゃんを想う時間を作ることを提案する。
- ・医療者や、カウンセラーなどに相談する。
- ・Aさんと同じような経験をした方やグループを紹介し、経験を分かち合い、語り合える場を提供する。

06 周産期のグリーフケアの例



子宮内胎児死亡を体験したAさんのその後



ピアサポーターが参加する「お話し会」に参加し、少しずつ気持ちが落ちついてきたと感じています。

おわりに



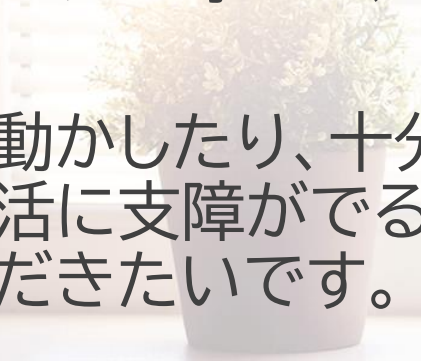
グリーフの過程は人それぞれです。
寄り添い方やケアの在り方も、正解はありません。

グリーフを体験している方に寄り添い、想いを引き出し、その方が回復していく過程を支えることがグリーフケアです。

時にケアをする側の気持ちも揺さぶられ、動揺してしまうことがあるかもしれません。

そのような時には、ご自分のこともケアをしましょう。

体を動かしたり、十分な栄養や睡眠をとることが重要です。日常生活に支障がでるような場合には、早めに専門家に相談していただきたいです。



引用・参考文献



- ①江藤宏美(2022).ペリネイタルケア2022夏季増刊 事例で学ぶ助産師ができる周産期のメンタルヘルスケア.メディカ出版.
- ②厚生労働省 令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業(2021).流産や死産等を経験した女性に対する心理社会的支援に関する調査研究事業報告書. <https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000903116.pdf>
- ③白井千秋(2012).不妊を語る 19人のライフヒストリー.海鳴社.
- ④菅生聖子(2017).人工死産経験者の体験の受け止めにに関する調査研究.心理臨床学研究.35(1)39-49.
- ⑤瀬藤乃理子,広瀬寛子(2023).グリーフケアとグリーフカウンセリング 死別と悲嘆へのサポート実践ガイド.日本評論社
- ⑤竹内正人編著(2010).赤やんへの死へのまなざし 両親の体験談から学ぶ周産期のグリーフケア.中央法規.
- ⑥橋本洋子(2020).メンタルケアって何?グリーフケアってなに?.ペリネイタルケア,39, 18-21.
- ⑦深澤友紀(2018).産声のない天使たち.朝日新聞出版.
- ⑧蛭田明子(2017).シリーズ看護の知 亡くなった子どもと「共に在る」家族.日本看護協会出版会.
- ⑨宮林幸江,関本昭治(2022).はじめて学ぶ グリーフケア 第2版.日本看護協会出版会.
- ⑩流産・死産・新生児死で子どもを亡くした親の会著(2002).誕生死.三省堂.

THANK YOU

ご視聴いただきありがとうございました



2025年度 こども家庭庁委託事業

不妊症・不育症 ピアサポーター等の養成研修

医療従事者・自治体関係者プログラム

5. グリーフケア

周産期グリーフケア

周産期グリーフケアはちどりプロジェクト 共同代表

大竹 麻美

遠藤 佑子



5. 周産期グリーフケア

周産期グリーフケアはちどりプロジェクト

共同代表（当事者） 大竹 麻美

共同代表（医療者） 遠藤 佑子



5. 周産期グリーフケア

Contents

- 1 周産期グリーフケアはちどりプロジェクト 団体紹介
- 2 不妊・不育症ケアとグリーフケア
- 3 周産期喪失後のピアサポートの実際
～ 当事者の立場から
- 4 まとめ ～ピアサポートに必要なころえ

1. 周産期グリーフケア はちどりプロジェクト 団体紹介



周産期グリーフケアはちどりプロジェクト



当事者と医療者が立場を超えて**連携**しなければ、
当事者が本当に必要とする支援は広がるはずがない！

臨床現場で感じた疑問/違和感

- ・涙していなければ受容できている？
- ・退院後はどうしているのだろうか？

「グリーフケアってそもそも何？」

「もう大丈夫」なはずがない！

自分の目で確かめたい

(グリーフの学び、自助グループ参加)

現状を何とかしたい・・・

何をどうしたらいいのか？



助産師
(遠藤)



ピアサポートの場で語られる
当事者の体験には、大事な赤ちゃんとの
お別れをしてただでさえ辛いところに、余
計な傷つきをしている人が多い。

- ・医療施設・行政窓口での傷つき体験
- ・家族, 職場, 友人, 周囲の理解不足

当事者だけで語りあっていても、これら
の問題は解決しない

現状を知ってもらう必要がある！

今後のため、自助活動と並行して
何とかしなければ・・・。



自助会運営者
(大竹)

2018 周産期グリーフケアはちどりプロジェクト結成

ハチドリのひとしずく



森が燃えていました

森の生きものたちは われ先にと 逃げて いました

でもクリキンディという名の

ハチドリだけは いったりきたり

口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは

火の上に落としていきます

動物たちがそれを見て

「そんなことをして いったい何になるんだ？」

といって笑います

クリキンディはこう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」

出典：[「ハチドリのひとしずく」](#) 辻 信一監修 光文社刊 2005年

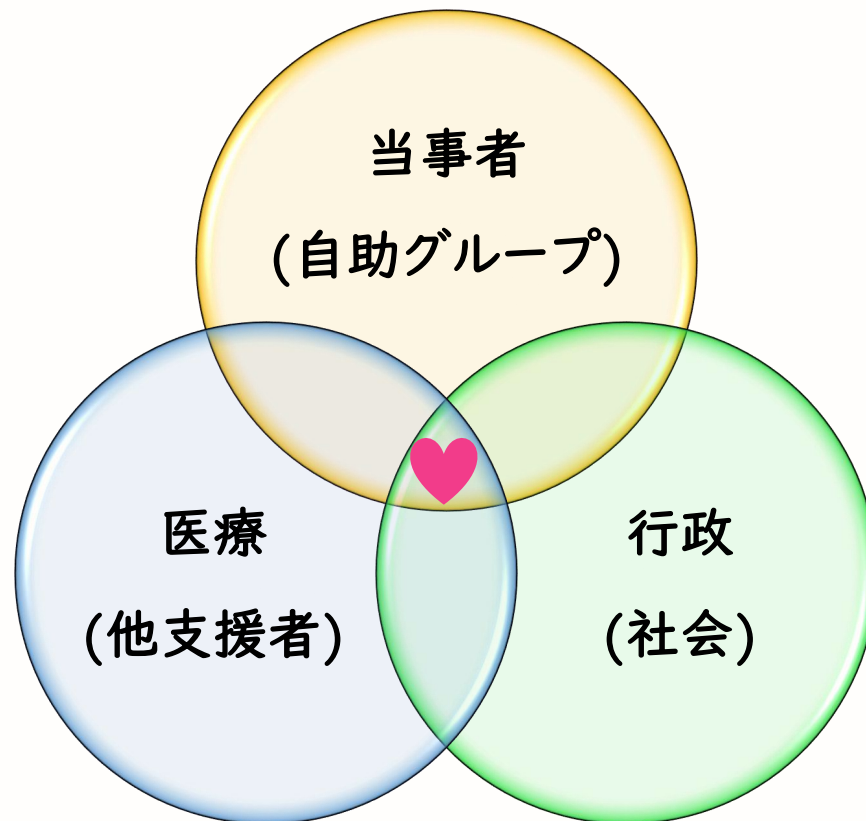


団体の由来となった物語。主人公クリキンディの行動が、私たちの活動理念と重なり、“はちどりプロジェクト”と名付けました。何になるかわからなくても、諦めず、小さな行動こそ大切に地道にコツコツと。初心を大切に、信念を持ち行動し続けていきます。

私たちが取組むグリーフケア啓発活動の目的

当事者と支援者が対等に連携することで、様々な橋渡しに取り組む。

確かな連携
により
支援の抜け落ち
をなくしたい！



日本全国どこに住んでいても
誰もが平等に公的な社会資源
としてのグリーフサポートが
受けられる社会を目指して活動

地域で連携し支えるグリーフサポート
(悲嘆への寄り添い)

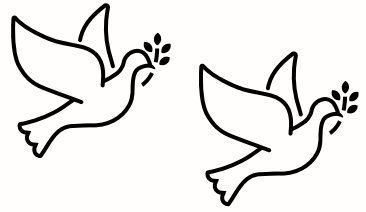
周産期グリーフケア
はちどりプロジェクト



グリーフケア普及のための勉強会 ～地道に当事者の声を届ける活動～

- ✓ 周産期に携わる看護師・助産師
- ✓ 心理職者、心理学を学ぶ学生
- ✓ 市民に寄り添う政治家の方々
- ✓ 母子保健に携わる行政職員
- ✓ 市民に関わる行政一般職員
- ✓ 親子支援に携わる方々
- ✓ グリーフケアに関心を持つあらゆる立場の方が対象





周産期グリーフケアはちどりプロジェクト ～ 当事者と医療者が協働する任意団体 ～



【同じ志を持つ仲間と共に】

- 日本全国どこに住んでいても誰もが平等に希望した際、適切な支援が届けられる社会を目指す
- 職業、年齢、居住地、立場などあらゆる壁を取っ払い、対等に連携しながら本当に必要な支援を目指す
- プロジェクトの目標が達成され、いつか私たちの取り組む啓発活動など必要のない社会を目指す
(常に初心を確認し合いながら活動)

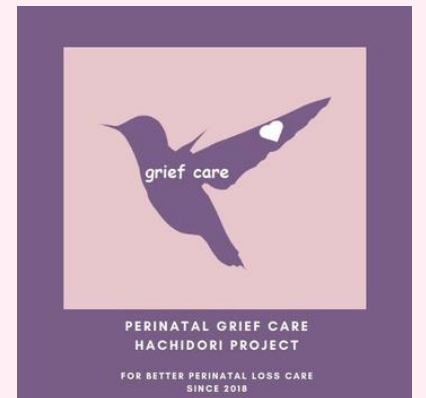
ゴールはプロジェクト終了（解散）



周産期グリーフケア
はちどりプロジェクト



2. 不妊・不育症ケアとグリーフケア





不妊・不育症ケアとグリーフケア

・不妊症・不育症の治療が目指すのは、全てのカップルが子どもを授かり、無事に元気な赤ちゃんを産み育てること。

・しかし治療過程において、さまざまな喪失を経験する可能性がある。

◆ 治療の過程で生じる流産・死産

◆ なかなか子どもが授からない苦悩

◆ やっと授かった子どもに見つかった障害

◆ 治療の卒業によって、子どものいない人生を歩む結果に伴う喪失

⇒ 思い描いていた未来と現実の相違。予想していなかった人生。

不妊症・不育症の対象と関わるスタッフにとっても、

「グリーフ・ケア」に関する知識は必要不可欠であるといえる。

※注意： 全ての周産期喪失が、不妊症・不育症と関係しているわけではない

グリーフケア＝妊娠・出産がゴールではなく1つひとつのいのちの喪失に寄り添う関わり

3. 周産期喪失後の ピアサポートの実際 ～当事者の立場から



関西天使ママサロン(ポコズママの会関西)

具体的な活動内容

- ✓ 個別カフェ
- ✓ グループカフェ
- ✓ ワークショップ付カフェ
- ✓ 次の妊娠を目指すあゆみをサポート
- ✓ 次の子の妊娠期、産後の心のケアと育児支援
- ✓ 不妊不育、胎児疾患による人工死産
- ✓ 子どものいない人生の伴走





グリーフケアサロン
ピッコラ・ファミリア
小さいのちとお別れしたご家族のための
関西天使ママサロン

社会貢献事業として「小さいのち」とお別れされたご家族のために様々な活動に取り組んでいます。
当事者でもあるグリーフケアアドバイザーが、心に寄り添いながらみなさんの想いに耳を傾けて、時には涙し
時には笑ったり...そんなやさしい時間が流れる♡心できる温かい雰囲気のカフェです。

個別カフェ

「喪失直後」グループ形式の茶話会では
お話しするのが辛い時もあります。
グリーフケアアドバイザー(当事者)が
初回は色々なお話を伺い
ゆっくりお茶を飲みながら過ごします。

グループカフェ

同じ経験をした
仲間と過ごします。
個別カフェでは得られない
共感や気づきがあります。

ワークショップ付 カフェ

深い悲嘆の心が少しずつ癒されるように
『お空の天使ちゃん』を思いながら
取り組むワークショップです。
可愛いお地蔵さんのパステルアートや
アーティフィシャルフラワー
アイシングクッキーなど、
無心で取り組むことで心が浄化されます。

angeli famiglia ~アγγελファミリー~

お空の子供への想いを大切にしながら
不安いっぱいの妊娠期と産後
そして地上の子育てを応援。
お空の我が子への想いを
安心して話してできる場所です。
ママ達の気持ちに寄り添いながら
可愛いレインボーベビー達の成長も
見守っていききたいと思います。

ポコズママの会

2003年設立
流産・死産・新生児死などの理由で
小さなお子様を亡くされた
ご家族同士の相互支援を目的として
活動している非営利任意団体です。

不妊・不育
胎児疾患による
人工死産
子供のいない
人生のあゆみ
~ con un angelo ~
お空と共に

周産期グリーフケア はちどりプロジェクト

“はちどりプロジェクト Hummingbird”の特徴は、当事者と
医療従事者が対等に協働していることです。
医療従事者・助産師・精神科医師・心理士他、専門職の皆さまと
真の寄り添い支援の社会啓発を目指しています。

- ・医療施設向け研修会(出張講演等)によるグリーフケア啓発活動
- ・当事者と医療者がお互いに分かち合える交流会の企画・運営
- ・地域におけるグリーフケア啓発活動
- ・当事者が求める家族への支援体制に関する実態調査を実施
(厚生労働省へ提出)

※今後も色とりどりの“ひとしずく運動”に取り組めます。

主な活動 (お話し、個別相談)

- ・大阪府&大阪市 にじいろプレイス
- ・東大阪市 オレンジカモミール
- ・奈良女子大学 (セミナー&ポコスカフェ)

ほか

NPO 法人ピッコラ・ファミリア
大阪府東大阪市東山町 4-8 百光ビル 3 階
近鉄けいはんな線 新石切駅 4 番出口前

Piccola HP

グリーフケアサロン
TEL.(072)986-9744

Piccola famiglia
ピッコラファミリー

Poco's HP


周産期グリーフケア
はちどりプロジェクト



ピアサポート活動の様子



Grief Work (グリーフ・ワーク)

悲しみに向き合い、折り合いをつけてその後の人生を歩むために必要で大切な取り組み。



大切な子どもの話をして思い出し、仲間とともに涙するのは大切なグリーフワーク。「忘れることはできない」。悲しめる場所が必要。

ワークショップ
パステルアート

ワークショップ付カフェ

わが子へのプレゼントを作ること、親としてできること。
大切なグリーフ・ワーク。





自助会（ワークショップ）の様子



制作に集中する時間は、大切なグリーフワーク。
仕上げに子どもたちへのメッセージを添えて。
素敵な作品が出来上がりました。

周産期グリーフケア
はちどりプロジェクト



4. まとめ

～ピアサポートに必要なところえ



グリーフ(grief) = 喪失による悲嘆



ご本人にとって大切なもの(あらゆる物、者)を失った
悲しみ/愛しみ/哀しみ。グリーフ ≠ 死別
グリーフケア, グリーフサポート = 悲嘆に寄り添うこと

死別

関係性

生きがい

自尊心

時間・思い出

つながり

役割

希望

記憶

夢

自信

生きる力

ピアサポーターとは？

ピア = 仲間？

サポーター = 支援者？

グリーンケアにおいては
支援者主体で介入することが、
必ずしも相手の役に立つとは
限らない
※余計なお節介になることも多い



当たり前のように一番大切なこと ～グリーフに向き合うころえ

悲嘆（グリーフ）に向き合うことは、当事者本人にしかできない。

主体はいつも当事者本人であるということを忘れない

支援者にできることは限られていることを心に留め、

わかったつもりにならないことを常に意識する

- あなたに何がわかる？感情をも受け止める覚悟
- 相手を理解しようとする姿勢こそ大切
- 悲しむ機会を奪わない、**解決を急がせない**
- 本人の力を信じて、共にあること

それでもわかろうと思う気持ちを持ち続けてそばに居ること



厚生労働省国庫補助事業 令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業 子どもを亡くした家族へのグリーフケアに関する調査研究 報告書・成果物



手引き×3種（産科医療機関スタッフ用、小児科医療機関スタッフ用、自治体担当者用）

引用：<https://cancerscan.jp/news/1115/>
※上記URLより無料でダウンロード可能です。是非、ご一読およびご活用下さい。

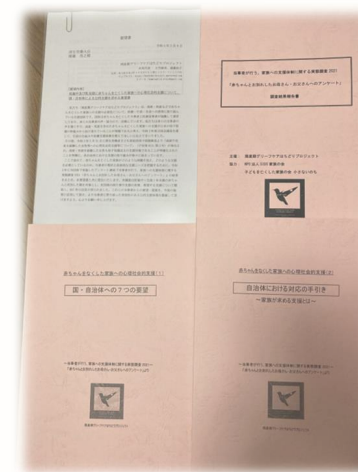


リーフレット×2種

【全国自治体限定】はちどり冊子x3冊セット 実費ご負担でお申込み受付再開 (2023.6～)



1. アンケート調査結果報告書
 2. 文書「国・自治体への7つの要望」
 3. 文書「自治体における対応の手引き
- ～家族が求める支援とは～



3冊セット
製本実費 3,350円
+ 送料、他実費

※印刷代高騰により初版より価格変更

お気軽にメールでお問合せ下さい。

hummingbird.drops@gmail.com

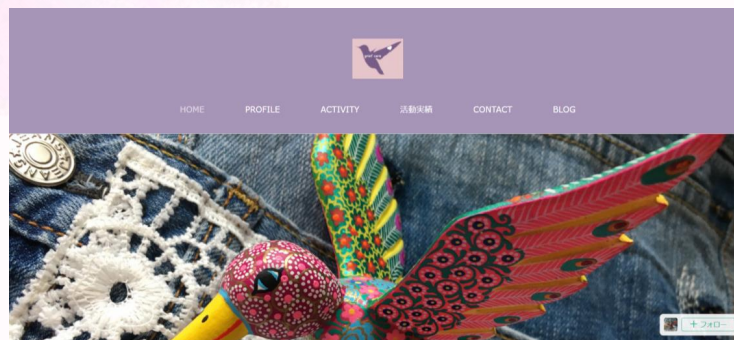
周産期グリーフケア
はちどりプロジェクト



Contact Us



<https://hachidoriproject.amebaownd.com/>



はちどり

グリーフ



周産期

はちどり

MAIL: hummingbird.drops@gmail.com

イベント参加希望、ご意見、ご感想 ご要望、その他、どんなことでも構いません。
みなさまからのフィードバックを心よりお待ちしております。

ご清聴ありがとうございました。

“はちどりのひとしずく”が
みなさまの心に届きますように。

<https://hachidoriproject.amebaownd.com/>
Mail: hummingbird.drops@gmail.com



周産期グリーフケアはちどりプロジェクト ～今、私たちにできること～